

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 7 columns: 事業コード, 23, 事業名, 組織のあり方検討事業, 戦略コード, 3, 戦略名, 事業者が主役の商工会. Includes rows for 担当部名 and 担当課名.

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

現状では、商工会や県連合会の組織運営や事業推進、地域振興等については事務局主導で行われており、役員の参画が課題となっている。

2. 事業のねらい

事務局主導の執行体制を改善し、役職員がそれぞれの役割を果たし、事業者と地域の発展に寄与する組織の実現を目指す。

3. これまでの評価結果

Table with 9 columns: 過年度, H29, A, H30, A, R1, B, R2

組織が抱える重要課題に対して、役員が積極的に関わりを持ち、活発な議論により組織としての意思決定を行うことにつながった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

役員セミナーによる役員会の組織運営への参画意識の醸成を図るとともに、組織運営上の課題を検証していく。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 54, 55, 56.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for performance metrics: 取組コード, 56, 取組コード, 56, 取組コード, 指標名, 総(代)会・役員会の本人出席率, 指標名, 役員会出席率, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3.

※新型コロナにより書面開催としたためb評価

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

役員の組織への帰属意識を高め、役職員一丸となった組織運営は、今後の事業推進や地域振興等には必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

県連合会の2期プラン策定委員会(3回)、各商工会においても策定委員会が開催され、将来を見据えた組織のあり方、役員の組織に対する関わり方等について議論を深めることができたことから、事業は有効である。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

役員会で議論することで、効率的かつ迅速な意思決定につながっている。また、それぞれの2期プラン策定委員会で今後の組織のあり方等についても効率的に議論を行うことができています。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

コロナ禍により、役員セミナーを開催することはできなかったが、県連合会及び各商工会での2期プラン策定委員会において新たな組織のあり方、組織運営の方向性について議論を深めることができた。また、商工会法施行60周年記念事業として記念史を発行し、60年の歴史を振り返ることで組織としての一体感を醸成した。

3. 課題

各商工会の総(代)会の出席率を向上させ、役職員だけでなく会員も含めて一体となった組織運営を行っていく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

今年度実施できなかった役員セミナーを開催し、商工会役員の意識啓発を図るとともに、2期プランの策定を契機に役職員一体となって組織のあり方・方向性について議論を深めていく。